

ぼちぼちいにかっ！

2002年5月 vol.391-vol.421

2002年5月	3
繰り返し? -2002/05/01(水) Vol.385	3
GW -2002/05/02(木) Vol.386	3
妻の帰り -2002/05/03(金) Vol.387	4
ひとり -2002/05/04(土) Vol.388	5
つもり -2002/05/05(日) Vol.395	5
義父 -2002/05/06(月) Vol.396	6
三つの命 -2002/05/07(火) Vol.397	7
きっかけ -2002/05/08(水) Vol.398	7
デイケア -2002/05/09(木) Vol.399	8
正直な気持ち -2002/05/10(金) Vol.400	8
少年被疑者 -2002/05/11(土) Vol.401	9
母の日 -2002/05/12(日) Vol.402	10
P T A -2002/05/13(月) Vol.403	10
Y先生 -2002/05/14(火) Vol.404	11
ふれあい講座 -2002/05/15(水) Vol.405	12
出産? -2002/05/16(木) Vol.406	12
保証期間 -2002/05/17(金) Vol.407	13
出産! -2002/05/18(土) Vol.408	14
長い一日 -2002/05/19(日) Vol.409	15
疲労困憊 -2002/05/20(月) Vol.410	16
つかむ -2002/05/21(火) Vol.411	18
説得力 -2002/05/22(水) Vol.412	18
居心地 -2002/05/23(木) Vol.413	19
小学校へ -2002/05/24(金) Vol.414	19
飲み会 -2002/05/25(土) Vol.415	20
監禁状態? -2002/05/26(日) Vol.416	21
買い手の気持ち -2002/05/27(月) Vol.417	21
耐える -2002/05/28(火) Vol.418	22
サトラレ -2002/05/29(水) Vol.419	23
ワールドカップ -2002/05/30(木) Vol.420	24
価格表 -2002/05/31(金) Vol.421	25

2002年5月

繰り返し? -2002/05/01(水) Vol.385

風薫る5月、というけれど、ここのところ外に出ることはほとんどない。
時間があると、パソコンに向かって、今までのメールマガジンを読み返してPDFファイルに整理していた。

面倒くさいと言えば面倒くさい。

だって、今までに配信していたメールマガジンの、タイトル部分やフッタ部分を全部切り取って、更には、配信用に70文字で入れていた改行を、全部取っ払わなければならない。

これも一部、二部程度ならば、どうってことないけれど、100号、200号.....となると、いい加減にイヤになってくる。

更には、PDFファイルへの変換も、なかなか言うことをきいてもらえず、サポートセンターに何度も電話を入れる始末。

でも、ついつい夢中になってしまった。

というのも、読み返している内に、

「ああ、何であんなこと言っちゃったんだろう?」と考え込んでしまったりした.....。

でも、そういう時間が、自分や家族やゆーたを見直す、絶好の機会になっていることを強く感じた。

:.:. '° 。 .:.*.'° ° ' .:.*:. .:.*.'° 。 .:.*:.*:.

ようやく、1998年の創刊号から、2001年の273号までを整理することができた。

目次が作成されたことによって、同じ話題が何度も何度も繰り返し出されていることに驚くやら、笑えるやら、そして、ため息も.....。

特に、おばあちゃんのことやゆーたが精神的に不安定になったことなどは、何度も何度も出てくる。そして、その度に僕は落ち込み、また、気持ちを切り直して、といった具合だ。

全然進歩がないジャン! なんてチョッピリ落ち込んだりした。

でも、進歩がないわけじゃない。僕もゆーたも。

現象としては同じようなことであっても、中身が全然違っている。

同じ事の繰り返しのように見えても、少しずつ成長している。

それはほとんど目に見えないような、遅々とした歩みかもしれないけれど。

:.:. '° 。 .:.*.'° ° ' .:.*:. .:.*.'° 。 .:.*:.*:.

ようやく何とかまとめられ、完成したファイルを女房に見せた!

「ね、ね、凄いでしょ?」(^)v

「.....????」(;)

「あ、そう.....」(..)

ま、他の人が読んだからと言って、どうって事ないものなんだろう.....。

PDFファイルは、こちらで読むことができます。

<http://www.osamu.net/pdf/>

HPも久しぶりに手直ししました。まだ、工事中の所がたくさんありますが。

GW -2002/05/02(木) Vol.386

明日からGWの後半が始まるそうだ。

「.....そうだ」という表現が、僕の毎日をホントよく表していると自分でも感心してしまう。

僕もゆーたも、毎日毎日がお休みだから、GWも何も関係ない。

要するに、女房が休みかどうか、ということだけなのだ。

その女房殿。今日、年休を取り世間よりも一足早くGWに突入した。

今日、明日は愛知県の幸田にある「ダーシェンカ」というパン工房で、石窯づくりをしてくるそうだ。

パン作りのみならず、窯づくりにまで手を広げようとしている女房。一体、どこまで行く気何だろう?

：*：*！° 。：*：*！° ° '！*：*：*。：*：*！° 。：*：*：*：*：

4日からは、沼津の実家に女房とゆーたと二人で出かけてくる。
僕は、家にいて留守番。
出産が近づいて気持ちが不安定なプーニャを放っておけないということから、独身生活を送ることになった。
あ、違うか？ 猫'sがいるんだっけ！

もう一つは、以前のような下との関係があれば、おばあちゃん達にプーニャとミュウの事をお願いして、一泊か二泊くらいはできただろう。しかし、先月の以来、僕はおばあちゃんと言も口をきいていない。顔を合わせるのもイヤ、という状態が続いている。
そんな中で、出かける時だけ猫の世話を頼むなんて、とんでもない！
やむなく家を空けないと行けない時は、鍵を渡してペットシッターさんを頼もうと思っている。

：*：*！° 。：*：*！° ° '！*：*：*。：*：*！° 。：*：*：*：*：

さて、二日ほどの独身生活。何をして遊ぼうか？
なんて思ってみても、遊び相手は猫ぐらいのもの。(--;)
恐らく、パソコンに向かっているか、漫画喫茶で時間を潰すか、フラッと走りに出かけるか.....
いずれにせよ、寂しい限りだなあ。(;_;

プーニャは布団決められたところでトイレをちゃんとします。
う～ん、夜はプーニャと一緒に寝ようかなあ？(爆)

妻の帰り -2002/05/03(金) Vol.387

「あなた、今まで何していたの？」
「ああ、会議が長引いて」
「食事はどうされます？」
「済ましてきた」

なあんてシーンがよくテレビドラマなんかでは流される。
今日は、それと同じような気持ちを味わった。

：*：*！° 。：*：*！° ° '！*：*：*。：*：*！° 。：*：*：*：*：

「今日は、帰りは何時頃になる？」
「う～ん、わからん。今日は、完成次第終わりだから.....」
それだけ言うと、女房は朝からダーシェンカに出かけて行った。

今日からGWの後半。高速も混むだろうし、交通事故もこの時期、多発する。
先だっても、不注意で高校生の自転車と接触した女房。
僕は女房の運転が心配で仕方がない。
運転を代わるのがイヤなのも、僕よりもブレーキのタイミングが、随分と遅いのだ。遅いからブレーキもきつめになる。ホント横に乗っていておっかないのだ。

：*：*！° 。：*：*！° ° '！*：*：*。：*：*！° 。：*：*：*：*：

「もしかしたら早く帰ってくるかもしれないね。」そんなことを昼間ゆーたと話していた。「お昼頃には、一度連絡があると思うよ」とも。

一向に女房からの連絡はなかった。
4時.....、5時.....、6時.....。
「遅いねえ、ママは.....」
「大丈夫かねえ？ 渋滞かなあ？」
6時過ぎにこちらから電話を入れた。
「ごめん、今、終わったところ。晩ご飯は何か食べてて.....」

(`_´)

僕はゆーたと食事に出かけた。

:.:.:'° 。.:.:.'° ° ' .:.'°. .:.'.'° 。.:.:.'°:

どんな状況か、一本くらい連絡を入れられるだろうに！

女房はいつもそうだ。
事故でも起こしてたりしないだろうか？ そんな心配もしていた。
もしかしたら早くなるかもしれない.....。
早く帰ってきたら、どこかに食事に行っても行きたいなあ.....。
どこかに出かけることもなく、家で待っていたゆーたと僕。

自分はいいだろう。二日間、やりたいことをやってきたんだから。
いつ帰ってくるかわからない、ただ「待っているだけ」のゆーたの姿が、女房には見えていないのだ！

過去の「ぼちぼち...」のタイトル一覧のページをつくりました。
とりあえずタイトルだけでも、という方はどうぞ。
<http://www.osamu.net/pdf/>
そうそう、PDFファイルの送付をご希望される方は、ご連絡下さい。

ひとり -2002/05/04(土) Vol.388

女房とゆーたは、午前中から出かけていった。後には僕ひとり。二泊三日、帰ってくるのは6日の予定。
ゆーたの「パパ、レベルアップしてよぉ～」や女房の「コーヒーが飲みたいなあ～」という声もない。時々、
プーニャとミュウがすり寄ってくるくらい。二階の部屋は、ひとりでは何とも広すぎる。

:.:.:'° 。.:.:.'° ° ' .:.'°. .:.'.'° 。.:.:.'°:

さて、何をしよう.....？
勝手気ままにできる二日間が与えられたわけだが、何となく気持ちがすっきりとしない。

ひとしきりHPを整理して、昼過ぎから久しぶりに佐鳴湖に走りに行った。
バーベキューをしている人たち、ベビーカーに赤ちゃんを乗せて、ゆっくりと歩く若いお父さん、お母さん。
芝生に腰掛けて楽しげに話をしている二人。
そんな人たちを横目に見ながら、僕はゆっくりと走る。

東屋がある。そこに年の頃、60過ぎくらいの初老の男性がいた。
ひとり湖面を見つめ、煙草をくゆらせていた。
何となくその横顔が疲れているように思えたのは、僕の気のせいかな？

夕食がてら、漫画喫茶に入った。
一瞬目を疑った。後ろ姿が、僕が振られた女性にそっくりの人がいるではないか！ ドキドキしてきた！
こんなところにいるはずがないのに.....。
僕の座っている場所からは、顔が見えないだけに、ドキドキの時間は、ずっと続いた。

:.:.:'° 。.:.:.'° ° ' .:.'°. .:.'.'° 。.:.:.'°:

GW、みんな一体何をして過ごしているんだろう？
こういう時に「ひとり」というのは、何かしら寂しいものだ。
そして、側にいることが当たり前になってしまっている家族の事を思うと同時に、つくづく自分は寂しが
りやだと実感した。

明日、明後日.....、誰か遊んで！ (^.^)
ん？ プーニャとミュウがいるって.....??? (^.^)

つもり -2002/05/05(日) Vol.395

ひとりで寝るのが寂しいので(笑) 寝室から布団を引っ張ってきて、プーニャ達と一緒に寝た。ある種の危険性を感じていたが、大丈夫だろう、という甘い期待をしていた僕がバカだった。(;_;

朝、8時過ぎ、足下で布団を引っ掻く音で目が覚めた！

や、やられた！

ミュウが爽やかな顔をしてチョココンと座っている。その足下には、できたての染みが広がっていた.....。

一辺に眠気の覚めた僕は、布団を干し、シーツを洗った.....。

この間だって、トイレをもう一回洗ってあげて、砂も変えてきれいにしてあげたジャン！ とミュウをにらみつけても、ヤツは素知らぬ顔。

手を変え品を変え、色々と試みてみても、ミュウには伝わっていないのだ、と改めて思い知らされた。飼い主の僕が、きれいにしてあげた「つもり」になっているだけなのだろう、と。

:*:・!° 。.:*:・!° ° !・*:..。.:*:・!° 。.:*:...*::

「そんなつもりじゃなかった」「自分は一生懸命やっているつもり」なんてのはよくある話。

いじめにしる、セクハラにしる、大事なものは「された側がどう受け止めたか」ということだと言われる。それと同じだろう。

いくら相手のために思ってやったとしても、こちらの気持ちが届かないことだってたくさんある。その時に、「どうしてわからないんだ！」と相手を責めるのか、「まだまだ足りないんだ！」と自分を見つめるのかで、その次が大きく変わってくる。

ゆーたに対してもそうだろう。

おばあちゃんに対してもそうだろう.....。

ミュウのあっけらかんとした顔を見て、そんなことを思った。

ミュウも一生懸命訴えているんでしょうね。
うまく、コミュニケーションがとれてないなあ.....（笑）

義父 -2002/05/06(月) Vol.396

昼前にゆーたと女房が沼津から帰ってきた。

「連休中、何をしていたの？」と女房に聞かれ、何も答えるものを持ち合わせていない自分が、ちょっぴり情けなかつたり.....。(^^)

距離にして150 km。静岡県の沼津市に女房の実家はある。

かつては真珠の養殖をしていたが、その後釣り船やを営むようになった。

釣りたての魚のおいしさ、自分で釣った魚のうまさを僕はここで知った。

義父は、いかにも海を相手に仕事をしているという感じの、ごっつい人だ。

決して、言葉は巧みではなく、ぶっきらぼうの感じを与えるような人だが、一本気な人だと僕の目には映る。

もう、70も半ばになる。

「身体がしんどい」「船を出すのがつらい」なんてことをここ数年、口にするようになった。

2、3年前膝を悪くしたという。

その膝の調子がますます悪くなってきているらしく、魚が少なくなった頃に手術をすると言うそうだ。

確かに、結婚した当初のイメージとは大きくかけ離れ、動きも随分とスローになってきた。

:*:・!° 。.:*:・!° ° !・*:..。.:*:・!° 。.:*:...*::

「月に一度くらいは、手伝いに行っておかないと.....」と女房は言っている。

確かにそうだろう。

我が家の親父とお袋も色々と病気は持っているとは言え、まだまだ元気だ。

自分たちで何でもやる。イヤ、やらないと気がすまない。

でも、「まだまだ元気だ」といつまで言えるのだろうか？ そんなことを義父の話と重ね合わせて、しみじみと思った。

「ぼちぼちいこっ」のPDFファイル、ようやく完成しました。

4月30日まで。番号の重複も直しました。もうじき、400号になります。
一度、ご覧下さい。 <http://www.osamu.net/pdf/>
よくまあ、ウダウダと書いてきたモンだと、我ながら思っています。

三つの命 -2002/05/07(火) Vol.397

プーニャのお腹の中には、三つの命が静かに生まれる日を待っていた。
「猫は想像妊娠って多いんですよ」とブリーダーさんに言われていたので、実際にレントゲン写真で確認した時は、何とも言えず嬉しかった。と、同時に確実に近づいてくる出産、元気な赤ちゃんが生まれるのだろうか？ という不安、心配も一層広がった。

「雄猫は、できるなら離しておいた方が良いでしょうね。猫には自分の子ども、という感覚はありませんから。」

そうだろうなあ……。ミュウは、最近増えてきた虫を見ると、見境がなくなる。一心不乱に追いかけて、床にたたき落として遊んでいる。他にもゴキブリ、以前は随分とうるさいなあ、と思ったら、ミュウの足下には、足をもぎとられた大きな蜘蛛が……。

「24時間、ずっと赤ちゃんの監視ができるわけじゃないから、やっぱり別々にした方が良いよね」とゆーたに言ったら、ようやく納得してくれた。

今週末には、寝室に出産用のゲージ、トイレ、水等を移動して、そこでプーニャの出産を迎えることにする。

ゆーたは夜寝る時に、猫が自分と同じ部屋にいと、落ち着けならしく、随分と抵抗していたのだが……。

:*:.'° 。.:*:.'° ° .'*:.'° .:*.:'° 。.:*:.'*:

「猫が出産する時、ってどうやったらわかるの？」

「陣痛、って何？」

ゆーたにはわからないことばかり。

そりゃそうだろう。

でも、来週末には、プーニャとミュウの子どもが生まれ、我が家は新しい命を迎えることになる。

木曜日か金曜日には、ブリーダーさんの所に、ミュウを連れて、遊びに行ってこようと思ってます。つい先だって、生まれた新しい赤ニャンコを見がてら。

きっかけ -2002/05/08(水) Vol.398

「ねえ、亀打やるからレベルアップしといてね～」とゆーたがにやっと笑いながら言う。

タッチタイピングソフトの「亀打」を買ってから、一ヶ月近くになる。

当初は、気が向いた時に、たまあ～にパソコンに向かっていたゆーた。

「亀打」をやるよりも、ドラクエのレベルアップをやっていることが多かったらどうか？ そんなゆーたを見て、僕も少し時間があつたので、つい口を滑らしてしまったのだ。

「ゆーた、レベルアップなら、パパやってやるで、『亀打』でもやっていたら？」と……。

ゆーたは、パソコンに向かい、僕はひたすらバトルを繰り返した。

それからというもの、「レベルアップお願いね！」とゆーたは言い、自分は「亀打」をやりながら、ゲラゲラ笑い転げるようになった。

こちらが何をしているかなどと言うことは、おかまいなしに言うてくるゆーたに、「またかっ！」と内心思いつつも、僕の方から言い出したことだから、むげに拒否することもできない……。(;_;)

:*:.'° 。.:*:.'° ° .'*:.'° .:*.:'° 。.:*:.'*:

確か4年生の頃だったらどうか？ ローマ字を習ったが、ゆーたにはチンブンカンブンだったのだから。「これからはローマ字入力！」と思っていたから、ローマ字を習い始めた時には「ここだっ！」など思ったが、直ぐにローマ字の授業は終わっていた。

以来、パソコンにゆーたが向かうようになって、文字入力に対しては、全然覚えようとしなかった。

ところが最近、驚いたことにしっかりとローマ字入力を覚えているではないか！ そして、右手はまだぎ

こちないが、利き手である左手は、ぬわんと指を五本使っているのだった！ いやぁ、凄い！
もっとも入力する文章は「始末書」であったりするのだが.....。(笑)

「意欲・興味、関心.....」なんて学校では言われているが、ホントに「興味、関心」というものは凄い力を持っているものだ、改めて思い知らされた。

同時に、ゆーたの興味・関心から色々なことをどうやって導き出してあげられるか、という事の大切さも、我が家には、「受験だから」とか「試験に出るから」なんてのは、全くもって通用せず、本当にゆーたそのものから出発しなければならないのだから。

キー入力は、女房よりもきちんとできるようになるだろう..... (^^ゞ

デイケア -2002/05/09(木) Vol.399

ゆーたは不安で仕方なかったのだ。

昨日辺りから、こちらの言葉に突っかかってくるのだ。

今朝もそうだった。ほんのつまらないことで、ゆーたと言い合いになってしまった。

.....

いつもとは明らかに違う反応。こっちもいい加減に頭に来て、最後には黙り込んでしまった。途中から、今日、メンタルクリニックでデイケアに少しだけ顔を出す事への不安が強いんだと、思ったのだった。同時に、イライラした状態で新しい場所へ入っていくのは、よくないと思ったからだった。

しかし、そうは思っても、ゆーたの口から出てくる、言葉にはホントに頭にくる。モヤモヤしたまま車に乗り込んだ。車を走らせながら、どこかで気持ちを切り替えるようにしなければ、そんなことばかりを考えていた。そう、ゆーたの気持ちを切り替えるには、僕の気持ちを切り替えなければならないのだ。

「おい、銀行、寄っていくんだろ？」

「ウン」

「デイケアに行く前に、寄ってやるから直ぐに降りられるようにしろよ」

昨日、おばあちゃんの友達二人が泊まりに来てもらったお小遣いを、預けに行きたい、と言っていたのだった。

その話をきっかけに、ギャグを言ったりして、何とか僕たちの間によく笑いが戻った。

:*:~'° 。.:*:~'° ° '.*:~.。.:*:~'° 。.:*:~'~*:

クリニックに着くと、ゆーたは早速カウンセラーのNさんとデイケアをのぞきに行った。僕は着いていなかった。

お昼前、少しNさんが様子を知らせに来てくれた。

「やっぱり緊張していたようですね。でも、女の子がココア飲む？ とか声をかけてくれて少しはほぐれたみたいですよ」

「どんな感じ？ って聞いたら、『まあ、よくもなく、悪くもなくかなあ？』

って言ってましたので、多分良かったんだと思います」

「来週も、一緒に顔を出してみようということになりました」等々.....。

帰りの車で、少し話を聞いたが、あまり突っ込んだことを聞いたり、こちらであーだ、こーだと言うのはやめた。

あくまでもNさんとゆーたとの中で、ゆっくり様子を見ながら決めていけば良いと思った。この場所が、ゆーたにとって、今までとは違う、落ち着ける場所になってくれたら良いと願いながら.....。

昨日から、おばあちゃんの友達二人が泊まりに来ています。

ゆーたに、食事に行こうとおばあちゃんが誘ったり.....。このところ、ゆーたは下に行きっぱなし。気が重いです.....。

正直な気持ち -2002/05/10(金) Vol.400

今日の午後、ゆーたと二人でミュウを譲ってくれた、ブリーダーさんの所まで出かける予定だった。生まれて間もない赤ちゃん猫を見に行くのと、プーニャのお産の事で、色々と聞かせてもらいたかったからだ。

しかし夕べ泊まったおばあちゃんの友人達が、今日の午後帰ることになっていた。「もしかしたら.....」

という思いは僕の中にあった。

昼食を食べて、ゆーたに「じゃ、行こうか！」と声をかけたら、ゆーたはぐずぐず言い始めた。「だって、ゆーたが行って、赤ちゃんに万が一のことがあったら……。どうせゆーたが行っても、変なことをしてしまったら……。」とにかく、延々と自分が行って迷惑がかかったらいけない、ということを使い続けた。

「オイ、masakoさんにはずっと前から『行く』って行ってあるんだぞ。それとプーのお産の時に、色々聞いておかないといけないことが一杯あるでしょ？ プーちゃんのお産と、おばさん達の見送りだったら、どっちが大事なの？」

ゆーたの答えはわかっている。お産よりも見送りの方が大事なのだ。そして、僕のいう事に対しては、何も反論できないということも……。

:.:.'° 。.:*.'° ° '.:*:.。.:*.'° 。.:*:.:.*:

お袋の知人が遊びに来て、昨日、今日とゆーたは下に行きっぱなし。僕としてはそれ自体、面白くない。でも、ここでゆーたを責め立てたとしても何もならないこともわかっている。

「いい？ ゆーた」

一度、深く息を吸っていった。

「パパは、怒ってないからね」

……いや、ホントは半分怒っていたのだが…… (^^ゞ

「ゆーたは、おばさん達の見送り行きたいんでしょ？ masakoさんの所よりも。

だったら自分の正直な気持ちを言えば良いじゃない！ 『masakoさんの所に行くことになっていたけれど、今日はやっぱり見送りに行きたいんだ』って。

『迷惑がかかる』とか『自分はダメだから』とか、そんなことどうして言うの？

そんなこと言う必要ないでしょ？ 正直な気持ちを言うことが大事なんだから。言い訳なんかするゆーたがパパは、イヤなんだよ。」

そしてもう一度、「見送りに今日は行きたいんでしょ？」と聞くと「ウン」とゆーたは答えた。「じゃ、それで良いじゃない。masakoさんの所は、今度又、機会を作って行けば良いからね」

そう言うと、ゆーたは嬉しそうに、下にすっ飛んで行った。

ホントに疲れますなあ……。 (--;)

でも、それ以上に、ゆーた君よって、僕は確実に人間が鍛えられていると思う。

おお！ 今日400号ではないか！ < これ正しい番号。
この調子で行けば、年末には600号を超えるのか！ 凄いぞ！（笑）

少年被疑者 -2002/05/11(土) Vol.401

タイトルにつられて、ついつい土曜ワイド劇場を最後まで見てしまった。

どんな風に描かれるんだろう？ と少しは期待していたのだが、やっぱり「見なければ良かった」と……。

番組の解説をするつもりはないし、年犯罪の被害者の家族の心情は、僕などには到底理解できないものだと思う。また、加害者の親の気持ちも同じ……。

「期待」というのは、そうした心情に何かしら近づけるヒントみたいなものがつかめれば、という思いがあったのかも知れない。

見終わった後の、ある種の不快感を伴うような重苦しい気持ち……。何だろう？ としばらく考えていた。

:.:.'° 。.:*.'° ° '.:*:.。.:*.'° 。.:*:.:.*:

この手のドラマがこの先、きっと出てくるんだろうなあ、という予感。少年犯罪をテーマにしたドラマが……。

中にはきっと素晴らしい番組も生まれるかもしれない。それでも、と思う。

もし、今日の番組を被害者、加害者の親が見たら、何と思うだろう？
そんなことを考えていた。

そりゃ、少年法や少年犯罪の事は大切なことだし、考えなければならない問題だが、テレビ番組とその深刻さとの落差が、あまりにもありすぎるように僕には思えてならなかった。

今日は、ホントはハーフマラソンでした。でも、やめ！
最近、走りに行くことが少なくなった。身体もその分、重くなった……。

母の日 -2002/05/12(日) Vol.402

何日前から「今度の日曜日は、母の日なんだよね」と女房が口にしてた。

しかし、僕とゆーたは結局何もせずに一日が終わっていきこうとしてた。

夕食の時、テレビで「チビまるこ」を見ていたら、やはり「母の日」にちなんだ内容だった。いつも、家族の世話で忙しいお母さんに、まるちゃん達が外に出かけ、お母さんにのんびりした一日をプレゼントしようと言うのだった。

「ねえ、ゆーたあ。母の日のプレゼント何にする？」

「ええ～っ、お金ないモン」

「いや、お金を出すことだけじゃないんだよ。」

「じゃ、パパはママに何か一つ言うことを聞いてあげよう！ どう？ ママ？」

「え？ 別にいいよ。いつも聞いてもらってるもの」

「そう、パパは『サンチョ』だモンねえ～」とゆーた。

……「サンチョ」という呼び方は、我が家でしっかり定着しつつある。(--;)

「そうねえ、ゆーたにしてもらいたいことはと……。」

一人でさっさと寝てくれるとかあ、言われなくても顔洗い歯磨きをちゃっちゃとやるとかあ……、それからあ……」

ゆーたは旗色が悪くなり、話題に加わってはこなかった。

こうして、今年の「母の日」も何事もなく終わっていった。

勿論、我が家には「父の日」も存在はしない……。(^^ゞ

予定では今週の中頃が出産日。相変わらず、ミュウと追いかけてっこをしているプーニャ……。大丈夫かあ？ (^_^;))

P T A -2002/05/13(月) Vol.403

P T A 会長になった時から、ML「Oh! P T A」というメーリングリストを開設していた。会長を辞めた後は、ほとんど開店休業状態が続き、この4月、顧問終了と同時に、もう閉鎖しようかな？ と半分思っていた。

ところが、ここへきてまた新しい参加者も増え、様々な悩みや意見が交わされるようになってきた。

「仕方なく会長に……」「P T A ってこんなものなの？」etcetc……。

やめてしまうのもなあ、と思いながら、会長をやっていた時に作った文章などを整理してみたりした。いやあ、実にたくさん文章を書いていたモンだと、我ながら感心してしまった。

……あれだけ書いていれば、メールマガジンも出せなかったわけだよなあ、なんてことまで思ったりして。

結局、参加者の方にお手伝いしてもらって、継続することになった。

:*:~!° 。.:*:~!° ° !~*:~!° .:~*:~!° 。.:~*:~!°:~*:~!°:~*:~!°

僕たちが子どもの頃と今の子ども達を取り巻く環境は、大きく異なっている。

コンビニはなかったし、プレスでもなかった。少年による凶悪犯罪も今ほどではなかった。どうしてこんな時代になってしまったんだろう.....？

誰が悪いんだろう？ 等と考えるようになってしまった。今、そうした時代のまっただ中で、一番苦しんでいるのは、他でもない子ども達。

「どんな大人に会うかで、子どもは決まってしまう」と言ったのは「窓際のトットちゃん」を書いた黒柳徹子さん。

なるほどとは思いますが、我々大人を取り巻く環境だって、そんなに過ごしやすいものではない。「素敵な大人」になるのもなかなか大変な時代なのだ、と一人頷いてみたりもする。

いずれにせよ、今の子ども達が次代を担っていくことは紛れもない事実。ならば、僕たちは、子ども達に何を語り伝えていくのか.....？ P T A活動を通して、何かできるのかな、等と試してみたりする今日この頃.....。

P T A 広報原稿 00/05/12

丁度二年前に書いた原稿が出てきた。

うむ、えらそーなこと書いてるジャン！

なんて思いながらも、久しぶりに学校のことをじっくり考えてみたのだった。

一応我が家も中学校の P T A 会費を納めているが、昨年、今年と P T A 関係の連絡や総会の文書などはきたことがない。

こんなものかな？ と思いつつも、学校のことが親のサイドから、全然見えてこないのは何かしら寂しい思いがする。

僕が会長の時に作った、運営委員会ニュースを P D F ファイルにしました。

<http://www.osamu.net/pdf/news.html> です。

いやぁファイルサイズがでかい！ (^_^;)

Y 先生 -2002/05/14(火) Vol.404

「おはようございます～。Y ですけど、今から、遊びに行ってもいいですか？」

まだパジャマ姿だった僕（笑）は、あわてて着替えて、食卓の上の片づけや食器を洗い始めた。

Y 先生.....。ゆーたが 6 年生だった時の担任の先生。

このメールマガジンにも何度も登場している。

小学校に転勤してくる前は、小中交流ということで中学校に行っていたという。その時は、荒れている生徒達を前に、随分と悩み、考えたという。小学校にやってきたのは、ゆーたが 5 年生の時。その時は、6 年生の担任で他のクラスの学級崩壊を起こし、中心になって対応していた。

6 年生になり、毎週のように我が家にやってきてくれた。

ゆーたも先生のことを好きになり、安心できる人の一人になった。

ゆーた達を卒業後、浜松科学館に突然異動となった。

たくさん子ども達、親、そして現場の先生達も悲しがった。僕もその一人。

Y 先生は、科学館が休みの平日を利用して、その後も、我が家に遊びに来てくれている。

:*:.'° 。.:*:.'° ° .'*:.'° .:*.:'° 。.:*...*:

素敵な先生だと思う。

僕は先生達のどこを見ているか、と言ったら、子ども達を見ている時の目だ。

やさしい目をしている人がいい。

そしてただやさしいだけではない、厳しい目を持っている人がいい。

「こわい」と「厳しい」、「やさしい」と「甘い」。

似ているようで全く違う言葉。

「やさしく」と「厳しい」先生がいい。僕もそうありたい、と思い続けてきた。

:*:.'° 。.:*:.'° ° .'*:.'° .:*.:'° 。.:*...*:

「確かに科学館では、色々な人たちと出会えて勉強になって、面白いですが、それでも、やっぱり子ども達と『チーパッパ』やってるのが、良いなあ～」
Y先生は、いつも笑いながら言う。
その言葉が心の底から出てくる先生だ。

外に出ようと思っても、プーニヤのことが気になってしまって、なかなか。
そりゃ、放っておいても、出産はするだろうけれど、そんなわけにはいかないなあ…… (^^ゞ

ふれあい講座 -2002/05/15(水) Vol.405

小学校のPTAの運営委員会懇親会の案内が届いた。
新旧の役員の引き継ぎの飲み会だが、一応僕も昨年一年は、「PTA顧問」という肩書きがついていた。それもお終い。
後、小学校との関わりといえば、年三回行われる「ふれあい講座」と、音楽会の時のPAくらいかな？

この「ふれあい講座」というのは、地域の人たちに1時間半の講座を持ってもらい、4年生から6年生までが希望に応じて講座を受けるというもの。
僕は、「パソコン教室」担当という事で、昨年も三回講座を受け持った。
内容は、デジカメを使ってカレンダーを作るというものにした。

しかし、小学校の設備というのは凄い！
昨年は一気にノートパソコン10台。デジカメ10台。LANでつなげられ、勿論インターネットもできる。そして今年は更に、デスクトップが20台、導入されていた。OSはXP……。

「その時々で一番性能が良いのを導入するのが、浜松市のやり方」と担当の先生が言っていたのを思い出した。
導入されるとなると、一気に導入されるんだなあ、とただただ驚き！

:*:°'°。.:*:°'°。°'°.:*:°。.:*:°'°。.:*:°:~*:

さて、今年は何をしようか、と少しは考えていたのだが、担当の職員からの電話には少々？であった。

「昨年どんなことをされたのか、知らないのですが、色々と言ってください」

……(--;)
オイオイ、そんなこと、こちらに電話してくる前に、少しは調べるなり、前担当者から、話を聞いてくることだろ？

1時間半の講座の謝礼は、図書券500円分だったかな？

お金が欲しいんじゃないかって、気持ちが良いんだよなあ……。

明日は、一応9週目。プーニヤの予定日です。でも、全然そんな感じはないなあ……。
出産？ -2002/05/16(木) Vol.406

出産？ -2002/05/16(木) Vol.406

朝起きて、食卓に行ったら、プーニヤの様子が少し違う。
ミュウに比べ、プーニヤは普段ほとんど鳴くことはない。そんなプーニヤがやたら側に来て、ミャー、ミャーと声を出すのだ。お腹が空いているのかと思い、餌を入れてあげたが食べる気配もない。
「これは、もしかしたら？」と思って、寝室に連れて行き、産箱に入れてあげたら横になって、こちらをずっと見ている。
そのうち、呼吸が少し荒くなり、ミャー、ミャーと声を出す。
間違いはない、出産が近づいたんだ、と思った。

ブリーダーさんに電話を入れて報告。
「きっとそうですね。でも、これから24時間くらいかかることもありますから、最初から気を張っていると疲れちゃいますよ」と。

お湯を沸かししたり、タオルの準備をしたりしたが、なかなか破水もしない。

う~ん、こりゃ、まだまだかな？ と。
でも、確実に出産は近づいているんだろうな。

:*:~'° 。..*:~'° ° '.*:~. .*:~'° 。.:*:~.~*:

プーニャはミュウと違い、僕以外の人にあまり近寄ってこない。
ミュウのように、誰の前でもゴロンとなって「なでてえ~」なんて甘えることはない。だから、ゆーたもミュウの方が、可愛いのだ。

僕が換気扇の下で煙草を吸っている時など、足下に座って、じいっとこちらを見ている。そして吸い終わった頃を見計らって、一声「ミヤッ！」

こっちへ来い！ と言っているのだ。

僕を引き連れ、後に付いてきているかどうか、チラチラ後ろを確認する。

エサを食べながらも、こちらをチラチラ見る。

僕の姿を見ると安心して、また食べ続ける。

確かに愛想はないが、そんなプーニャが可愛くてたまらない。

今晚は、このメールマガジンを配信したら、直ぐに寝ます。
もしかしたら、と……。今夜はよい子だ！（笑）

保証期間 -2002/05/17(金) Vol.407

結局、プーニャの出産はなかった。

早とちりだったのかなぁ？ でも、そう近いと思うんだけど……。(--;)

修理を頼んでおいた、パソコンとMP3プレーヤーが返ってきたという連絡が入った。直ぐにでも取りに行きたかったのだが、やっぱりプーニャのことが心配だったので、半ば諦めて産箱の横でゴロゴロしていた。

すると3時過ぎ、女房が帰ってきた。

なんと、体育館でイスだしをしている時に、怪我をして踵を10針ほど縫ってきた、というのだった。

「晩ご飯、ほか弁で良いから買ってきてえ~」と。

女房の足よりも、これでパソコンを取りに行くことができると、大喜びで出かけていった。

:*:~'° 。..*:~'° ° '.*:~. .*:~'° 。.:*:~.~*:

新しいものが直ぐに売りに出される。

値段も安く、より高性能になって……。

ヘタをすると修理代よりも新しいものを購入した方が、安くつくことがある。

直せばまだまだ使えるのに……。

2年ほど前からショップなどでは、メーカー保証とは別に、3年間保証というのをするようになった。僕は必ずこれに入る。

今回も、その期間内だったので、安心して修理に出すことができたのだった。

これが、もし、修理代 万円、ということになったら、壊れたまま新しいものを購入、ということになっていただろう……。

ノートの方は買ってまだ1年にも満たない。一方、MP3プレーヤーは、もう少しで3年になる。

ノートパソコンは、勿論、1年間の無償修理。

MP3プレーヤーは、なんと新品と交換になってしまった。 (^)v

う~ん、満ちう！

「まだまだ使えるのに……」そう思うと、なかなか捨てられずに置いてあるもの達。いつか日の目を見せてあげよう、と思いつつも、ずっと埃をかぶったままだ……。(--;)

「いい加減、捨てなよ！」と何度女房に言われても、やっぱり捨てられない。

.....フト、本棚の上をみたら、15インチのディスプレイが3台、こっちを見ていた。(^_^ ;

ワールドカップの日本代表が発表されましたね。いよいよだあ！

出産！ -2002/05/18(土) Vol.408

明らかにプーニャとは違う、か細い弱々しい声で目が覚めた。

朝の五時。

気がつくと、そこには今にも潰れてしまいそうな赤ちゃんが一匹、母親のおっぱいを探しながら、必死に這い回っている姿があった。

万が一の事を考え、枕元に用意しておいた、ガーゼやハサミなどを必要とすることもなく、プーニャは、僕が寝ている間に、母親になっていたのだった。

ゆーたと女房に声をかけた。

しばらくしてからミュウの実家のmasakoさんに電話を入れた。

「結構時間のかかる子もいますから.....」

そして、8時過ぎには二匹目の子どもが産まれた。

赤ちゃん達は、勿論まだ目もあいていない。

それでも、母親の姿がなくなると、精一杯の声で「ミィミィ」鳴く。

チュパチュパとおっぱいを吸う音が聞こえる。

フト見ると、おっぱいをくわえたまま、寝ている時もある。そして、また、思い出したように吸い始める。

産箱の外からじいっとのぞき込んでいると、取られまいとするのか、プーニャは手で子ども達を隠そうとする。

ただただ、驚きと感動.....。

生まれて数時間しか経っていない、小さな命だけれど、懸命に生きようとしている姿にを、僕は見続けていた。

:*:・'° 。.:*:・'° ° '・*:..。.:*:・'° 。.:*:...*::

三匹目が産まれてこない。

プーニャのお腹には、三匹の子どもがいる。

段々と不安になってきた。

再度、masakoさんに電話を入れた。masakoさんも、色々聞いてくれて、「母猫が元気ならば問題ないと思いますよ。中には、一日経ってから、出産した、っていうケースもあるそうだから。心配なのは、母猫がぐったりしてしまっている場合です。」と。

お産で疲れてしまって、母猫が.....なんて話も聞いている。

でも、プーニャは途中、エサを食べに出てきたり、ウロウロしたりしている。

元気がなくグッタリという様子はない。

モノの本では、お産は数時間で終わる、と書いてある。長時間経っても、生まれてこない場合は、動物病院へ行くべき、等とも。

「長時間ってどのくらいなんだあ？」

不安はどんどんと募っていく。

夜の10時を回った。

確かに陣痛はあるようだ。時々、お腹が大きく波打つようになる。

何度も大きく深呼吸をする。

その度に、今度こそ生まれるか？ と思っても赤ちゃんは出てこない。

大丈夫だろうか.....？

もし、お腹を切るようなことになったら、先に生まれた二匹の赤ちゃんにおっぱいを飲ませることもできなくなる。

「いつでも何かあったら電話を下さい」

masakoさんはそう言ってくれた。

長い夜が続きそうだ.....

プーニャの産箱の横で一日中、ゴロゴロしてました。
おかげで本が随分と読めました。でも、放っておかれているミュウがうるさい.....。相手をして欲しいんだろうなあ..... ごめんよお~ (..)

長い一日 -2002/05/19(日) Vol.409

もしかしたら、寝ている間に赤ちゃんが生まれているかもしれない! そんな一抹の期待を抱きながら、産箱の横に敷いた布団でウトウトしていた。夜中プーニャが何度となく産箱を出て、トイレに行くようになった。しかも、長い時間。

5時過ぎに目を覚ました時も、トイレに力無く横たわっているプーニャがいた。その間、勿論赤ちゃんの世話もしていない。

6時前に masakoさんと、動物病院に電話を入れた。

6時過ぎ、かかりつけの先生から電話が入った。

「準備をしますから、7時頃には来てください。赤ちゃんも連れてきて」と。

:*:.'° 。.:*:.'° ° .'*:.. .*:.'° 。.:*...*:

7時。僕とゆーたと女房の三人で病院に駆けつけた。

「まるまる一日はかかりすぎです。赤ちゃんが心配です」と。

そして「肩を持っていてください」と先生に言われた。

先生は、お腹に手を入れ、三匹目をなんとか引っ張り出そうとした。

その激しい痛みか、プーニャは肩を押さえていた僕の手を思いっきり噛みついた。

「ダメですね。陣痛促進剤と栄養剤で12時まで様子を見ましょう。それでダメなら帝王切開にしましょう。赤ちゃんには、鳴いたら直ぐにお腹一杯ミルクをあげてください」

:*:.'° 。.:*:.'° ° .'*:.. .*:.'° 。.:*...*:

赤ちゃんはひっきりなしに鳴き声を上げている。

ミルクをあげようとしても、なかなかうまくあげられない。

プーニャは、陣痛が起きるたびに、身体を大きく動かす。何とか出産しようとして一生懸命なのだ。

僕は横に寝転がって、頭や背中をなでてあげる.....。

何度も何度もいきんでも、赤ちゃんは出てこない。

12時。再び病院へ。

手術の承諾書を書いて、プーニャを預けてきた。

「今日の内には、麻酔から覚めて、お宅にお返ししますから。大体5時頃でしょうか.....?」

ゆーたの手術を思い出していた。

:*:.'° 。.:*:.'° ° .'*:.. .*:.'° 。.:*...*:

女房と僕で、代わる代わる用事を済ませ、赤ちゃんにミルクをあげたり、お尻を拭いてやったり。

夕方、デジカメのスマートメディアを買いに行ってきた。

これでたくさん、プーニャや赤ちゃんの写真を撮るんだ、と。

5時を回ったが病院からの電話はない。

6時を過ぎた。

「遅いよね」と女房。

7時を過ぎても電話がない。一度電話を入れたが、留守番電話だった。

「もしかしたら、プーニャの身体が手術に耐えられないとか、大変なことになっているんじゃないの?」不安げな女房の声。

僕も同じ思いだった。

7時半。病院からやっと連絡が入った。

「プーニャは、元気ですか？」と聞くと「こちらに来たら、詳しく説明しますから」という返事だった。

その時、僕も女房も同じ事を考えていた。

「私も行く」と女房が言った。

「イヤ、赤ちゃんのこともあるから……」と僕は一人で迎えに行くことにした。

女房の泣き顔を見たくなかったから……。

：*・'° 。 .:~*・'° ° '・*~.。 .:~*・'° 。 .:~*~*~*~:

ほんの10分もかからない距離だが、悪いことばかり頭をよぎる。

プーニャが小さかった頃、パソコンに向かって僕の手で、気持ちよさそうに寝入ってしまったことを。涙がこぼれそうになってきた。

病院について診察室に入った。

先生が穏やかな声で、

「もう、お腹から出かかっていたので、帝王切開をせずに全身麻酔で引っ張り出しました。赤ちゃんはだめでした……。」と。

家に電話をしてきた時は、他の手術をしていたので、説明できなかったと。

麻酔がまだ身体に残っているんだろう、プーニャはあんなに嫌いなキャリーの中にフラフラと入っていった。

駐車場からまず家に電話を入れた。

「プーニャ、帝王切開せずにすんだよ！」と。

そして masako さんにも……。

伝えながら、涙が出てきた……。

：*・'° 。 .:~*・'° ° '・*~.。 .:~*・'° 。 .:~*~*~*~:

部屋に戻ったプーニャはフラフラとしている。

僕の布団に入って、そのまま横になったまま動こうとしない。

本当にグッタリとしている。

赤ちゃんの泣き声にも、少し顔を上げる程度で、それ以上は身体が動かないのだろう。

今も、プーニャは僕の布団で静かに眠っている。

でも、手術をしなくてホントによかった。ホントに。

早く元気になって、赤ちゃんの世話を見られるようになれば良いのだが……。

それまでは、「3時間置きの授乳」をしなければならない。

さっきミルクをあげたのは9時半頃。

ポツポツ、また鳴き声を上げる頃だ……。

「アンタ、仕事がなくってホントに良かったねえ～」と女房が言った。
その通りだ……。 (^_^;)

疲労困憊 -2002/05/20(月) Vol.410

丸一日に及ぶ出産、そして全身麻酔とプーニャもさぞかし疲れたことだろう。

昨夜は僕の布団に入って、ずっと朝まで寝ていた。

勿論、赤ちゃんの世話を見ることもなかった。

夜中の12時、そして3時のミルク。それ以外にも赤ニャンコがピーピー鳴くとお尻を拭いてあげたり、寒くないかと使い捨てカイロの温度を調べたりと。

時々、横に潜っているプーニャが動く。

寝たのか寝ないのかわからない夜が明けた。

：*・'° 。 .:~*・'° ° '・*~.。 .:~*・'° 。 .:~*~*~*~:

朝になりようやくプーニャが声を出した。いつもに比べてか細い声だ。

ミルクをやったり体重を量ったりしている時、いつまでも泣き叫んでいる我が子のそばに寄ってくるよう

になった。

午前中にようやく食事をした。
赤ニャンの側に近づき、産箱の中をのぞくようになった。
これはチャンス！ と産箱の中にプーニャを入れた。
しばらくその中にいたので、僕は寝室を出た。

再び寝室に戻り、産箱を見て驚いた。
赤ニャンが一匹しかおらず、もう一匹とプーニャの姿がどこにも見えない！
焦った！ 産箱に残ったチビの鳴き声だけが聞こえてくる。
もしや、と思った。

プーニャの落ち着く場所として、僕の布団を敷きっぱなしにしていたのだ。
布団をめくるとそこには、プーニャが赤ちゃんを抱き込むようにして、うずくまっていた。急いで、もう一匹を布団の中のプーニャの側に置いてあげた。

しばらくすると、プーニャが布団から出てきた。取り残されたチビ達は、あまりにも小さく、ヘタをすれば不注意で踏みつけてしまいそう。僕は二匹を産箱に戻した。その途端、プーニャが産箱に入り、再び一匹の首をくわえて、布団の中に潜り込んでしまったのだ。
どうやらプーニャは産箱がきにいらなくなってしまったのだ。

どうしたものだろうか？ とにかくチビ達から目を離すことはできない。

:.:.:'° 。 .:.*:.'° ° ' .:.*:.. .:.*:.'° 。 .:.*:..:.*:

急いでもう一つ段ボールを潰して、産箱をつくって布団の中に入れてみたがそれも失敗。

まずはプーニャが落ち着ける場所をつくることだ、と思い、今までの産箱の中に敷いてあったペットシートを取り外し、僕が敷いていた布団シートを敷き詰めた。僕の臭い(笑)が染みついていた方がいいだろうかと。

布団から出てきたプーニャをその産箱の中に入れてみた。
やった！ 今度はそこに座り込んで、毛繕いなどをしている！
よし！
少し時間をおいてから、チビ達を今度はプーニャの所に置いてあげた。

.....ようやく、プーニャが落ち着いて赤ちゃんの面倒を見るようになった。
時計は既に4時近かった。

:.:.:'° 。 .:.*:.'° ° ' .:.*:.. .:.*:.'° 。 .:.*:..:.*:

やっぱり母親がいいんだ。

プーニャと一緒に産箱にいるようになってからというもの、ほとんど鳴き声をあげることはない。時々、中をのぞいてみると、おっぱいに吸い付いたまま眠っていたり、足元にうずくまっていたり.....。とっても静かな寝顔だ。

夕方、動物病院に出かけてきた後、僕とゆーたと女房の三人で三匹目の赤ちゃんを庭に埋めてあげた。

「昨日、パパがプーニャを迎えに行った後、私が、『きっとプーニャだめなんだ』って弱気になっていた時、ゆーたは『そんなことないよ！ そんなことないよ』って言ってくれてたんだよ」
そう女房が伝えてくれた。

ゆーたは、あまりにもちっちゃな赤ちゃんがおっかないのかもしれない。
今にも潰れそうで.....。そして、そんな小さな命にどうやって接していいのかわからないのかもしれない.....。

それでも、我が家にとっては、とっても大きな3日間だった。
いやあ、疲れた.....。
今夜はようやくゆっくり寝られそうだ.....。

これで山を越えられたんだらうか？
それともまだまだ、一波乱二波乱あるんだらうか……。ないことを祈る！

つかむ -2002/05/21(火) Vol.411

プーニャにかまれた左手の親指がメチャクチャ腫れてしまっている。
プーニャは牙を持っているんだと、初めて実感した。
右手の親指の付け根がひどく、昨日までは指を曲げることすらできなかった。
一番不便なのは、物がかめれないこと。何かを持つとうとして力を入れると、激痛が走り、思わずつかんだ物を落としそうになる。
車に乗る時、シフトレバーをつかめれない。バックやPに切り替える時は、右手を添えないといけない。急いで切り返しをしたい時は、焦ってしまう。

良かったことと言ったら、食器洗いを免除してもらえることだらうか？
そして、昼食の片づけをゆーたが手伝ってくれたこと。(^^ゞ

:*:~'° 。.:*:~'° ° ' .:*:~. .:*:~'° 。.:*:~:~*:

運転しながらフツと考えていた。

僕は今まで何をつかんできたんだらうか……。って。
折角つかんだのに手放してしまったモノ……。
つかもうとしてもつかめなかったモノ……。
そして、今、僕は何を握りしめているんだらうか？ と……。

そんなことを考えながら、僕は女房とゆーた、そしてプーニャとミュウと赤ちゃんが待つ家に向かっていった。

……。こんなことをボーっと考えられるのも、やっぱりプーニャのお産が一段落したからだらうな。

僕の手の中にあるモノ、「人のやさしさ」と「命の重さ」……。かな？
猫'sのページつくりました。生後数時間の赤ニャンコの写真もあります。
<http://www.osamu.net/cgi-bin/gallery>

説得力 -2002/05/22(水) Vol.412

「ねえ、お風呂入ったのっ！」
……。 (^_^;)
「ゆーたに、顔洗えとか歯を磨け、とか言ってるくせに」
「そーだ、そーだ」とゆーた。
「いや、それはだねえ、この間、プーのお産でねえ……」
「何言ってるんのよお、全然、説得力がないわね……」 (-_-)
「そ、ゆーたは毎日お風呂入ってるモンねえ～！」
ゆーたは勝ち誇った顔で言った。
とにかくこの勝負は、僕の負け。

:*:~'° 。.:*:~'° ° ' .:*:~. .:*:~'° 。.:*:~:~*:

走りに出かけた時は、帰って来るなり、まずは風呂に直行する。トレーニングをしジムに行けば、ゆっくりとジャグジーなんぞにつかってくる。風呂にゆっくり入るのは嫌いではないのだ。温泉にのんびりつかるとも好きだ。

しかし、ここの所プーニャの事で、外に出ることも少なく、ましてや走りに行ったり、ジムで汗を流すことも全然ない。
だから、夜になるとお風呂に入るのがつつい面倒くさくなってしまふのだ。

もう一つ言えば、我が家の風呂に入る順番は、まずゆーたと女房。そして、おばあちゃん。そしておじい

ちゃん。夜の遅い僕は、みんなが寝静まった後になる。大体が夜中近く。すると睡魔に負けてしまうのだった。

しまった！ また風呂に入りそびれた、なんて時は、出かける前にシャワーを浴びてお終い、となってしまう。

:*:.'° 。.:*:.'° ° '.:*:.. .*:.'° 。.:*:...*:

「ねえ、ゆーた。歯を磨いたり、顔を洗ったりするのは、自分のためであるのと同時に、人に対して不快な思いをさせない、ってのもあるんだぞ！」

そう言っているのだが、普段、人と接することのないゆーたにとって、この言葉は、あまり説得力がないかもしれない。

そう、僕のお風呂のように.....。 (^_^;)

「子育て・学校・子ども達」のメールマガジン、PDFにしました。
いくつかのテーマに分けて、整理し直しました。とって時間もかかってしまった。 <http://www.osamu.net/pdf/> です。
だいぶ、PDFファイルに慣れてきました。よしよし！

居心地 -2002/05/23(木) Vol.413

今日はメンタルクリニックのデイケアに行ってきた。

先週も行く予定だったが、プーニャの出産かも？ という事でパスをして、今日は二回目。初めて、デイケアに顔を出すことになった時は、とても緊張していた感じだったが、今日はそうでもなかった。

「今度は、お弁当持って行く？」

「う～ん、それも良いねえ」

なんて行きの車の中で話をしていた。

10時半から12時近くまで一時間半、僕はただ待っていた。

待合室に置いてある漫画を読んだり、持っていったパソコンの本を読んだり、タバコを吸いに行ったり.....。それでも時間を持てあましてしまった。

:*:.'° 。.:*:.'° ° '.:*:.. .*:.'° 。.:*:...*:

帰りがけ、ゆーたに聞いた。

「どんな雰囲気？」

「う～ん、悪くはないねえ」と。

ただ、何人いるの？ 男の子は？ 女の子は？ とか聞いても「わからん！ 知らん」という答えしか返ってこないの、実際どんな雰囲気なのかは、僕には全然伝わってこない。

でも、それでもいいかな？ と。

ゆーたにしてみたら、家以外に居心地の良い場所が、見つかったらと思う。

お弁当を持って出かける、というようになるまでは、まだまだ時間がかかるかもしれないなあ。

でも、少しは、他人のことに興味を持ってくれよなあ。(..)

夜、パソコンの事で友人に電話をしたら、「お風呂入って下さいよ」と言われてしまった。(^^ゞ

小学校へ -2002/05/24(金) Vol.414

昨日は「ふれあい講座」だった。

僕の講座は、デジカメで写真を撮ってきてそれをカレンダーにする、というもの。昨年も希望者が多かったらしく、希望しても他の講座に回された子ども達が結構いるということで、毎回違う内容よりも、同じ内容で実施して、できるだけたくさん子ども達に受講できるようにした。

ところが、今年、フタをあけてみてビックリ。

去年も受講した子ども達が5人もいたのだった。

しかも、いざ始めよう、となったらデジカメがどこにあるかわからない。

担当の教員が慌て探しにいったが、他の講座でも使っているといことで、当初予定していた台数よりも少ない！

.....なんなんだ！

と思った。でも、子ども達に責任はない。
学校の段取りの悪さ、お任せの姿勢にうんざりしながらも、終わった後、子ども達の「楽しかったぁ」という声に救われた気持ちでした。

:*:~'° 。.:*:~'° ° ' .:*:~. .:*:~'° 。.:*:~:~*:

午前中、昨日同じように講座を担当していたMさんに電話をした。
色々話をしていく内に、ますます怒れてきてしまった。

今回の講座は、担当するボランティアの意向を聞く前に、子ども達に講座の希望をとっていたという。内容も、全くおおざっぱなもので、何をすることも知らないままに子ども達は、希望を出したという。

そして、その後、学校から電話が入り、
「 月 日、行いますので宜しくお願いします」
それだけだった。

:*:~'° 。.:*:~'° ° ' .:*:~. .:*:~'° 。.:*:~:~*:

午後、Mさんと一緒に校長さんに会いに行った。

あまりの対応の悪さに、次回以降の講座は考えさせてもらいたい、とも伝えた。当初、校長さんは当惑した感じだったが、校長さんが知らなかったことがたくさんあったということがわかった。

「いや、そうした事は、学校として全く恥ずかしい限りです。申し訳ありませんでした」校長さんは、そう言った。そして「結局、私の所に、なかなか見えてこない所もあります。こうして言ってきて下さって、感謝します」とも。

決して社交辞令的な言葉ではなかったと思うが、校長さんと担当者とのこのギャップは、どうやって埋めていくのだろうか？ という思いを抱きながら、小学校を後にした。

明日は、小学校のPTAの懇親会です。元顧問と言うことでお呼びがかかりました。(^^ゞ
中学校？ 全然わかりませんねえ（笑）

飲み会 -2002/05/25(土) Vol.415

やっぱり僕にはもう関係のない世界なんだなあ、と実感した。

退職した教頭先生や、僕の後のPTA会長、去年引き続き役員を引き受けてくれた人たちがいるので参加したのだが、いかんせん、教員も入れ替わり、大部分の人が誰だかわからない。初対面の人の所へ「やあ、やあ、どもども！」と入っていけるほど、僕の心臓は強くない。むしろ、知らない人が多いと、引っ込んでしまうのだ。

二次会はお決まりのカラオケ。

行かなければ良いのに、という気持ちも半分、それでも一緒にやっていた人たちともう少し話もしたかったので、顔を出した。

でも、やっぱり疲れてしまった。

:*:~'° 。.:*:~'° ° ' .:*:~. .:*:~'° 。.:*:~:~*:

最近のカラオケってのは、デジタルでハーモニーを入れるんだ！

でも、あれは機械的に3度上の音を入れているから、元の音がずれていると、ハーモニーもずれてくる。伴奏のメロディラインと、音程のずれた歌、そして音程のずれたハーモニー……。そしてあの音がグワングワンと回るようなエコーも、ダメだ。とにかく僕には地獄の責めだった。

沼津の教員時代、フォークソング部で年がら年中、ヘッドホンをして、みんなの声や演奏を聴いていた。「あ、リズムがくるった！」「音がずれたよ～」という具合に。

:*:~'° 。.:*:~'° ° ' .:*:~. .:*:~'° 。.:*:~:~*:

それでも、去年、会長をやったYさんが

「いやあ、大変だけれどやって良かったよ。いろんな人と知り合えて！」と言ってくれたことが嬉しかった。

他の人も同じようなことを言っていた。

そうなんだよな、仕事とか地域だとかの利害関係ではなく、「子どものこと」という一点だけで結びついた人たち、純粋で単純な結びつきは、そんなにかもされないんだな、と思った。

そして、気心の知れた人たちと、静かにお酒を飲みたいモンだ、と。

「タイムカプセルどうするのぉ？」と言われてしまった！
う～ん、放ってあるモンなぁ。(^^;)

監禁状態？ -2002/05/26(日) Vol.416

アウン・サン・スー・チー女史の軟禁状態が解かれたというニュースを耳にしたからだと思うが、最近ゆーたが自分の状態を「監禁状態」と表現する。

要は、僕に「下のおばあちゃんの所に行っちゃいけない」「隣にも用事がなければ行ってはいけない」と言われて、ほとんど二階に「監禁状態」になっている事から、そんな言葉が出てきているんだろう。

更に、「今の下と上との異常な関係がいつまで続くんだろう？」と女房に言っている。確かにそうだろう。僕がおばあちゃんと全く言葉を交わしていない状況は、一つ屋根の下に暮らしているというのに、まともな状態ではない。

そして、ゆーたは最近、おばあちゃんと自分の関係は、それほどまずくはないと思っているらしい。

:*:.'° 。.:*:.'° ° .'*:.. .*:.'° 。.:*...*:

「このままの状態が良いのかなぁ？」と女房に聞いたら、「良いんじゃない」とあっさりとした答えが返ってきた。

確かに、おばあちゃんべつたりの頃に比べて、ゆーたは随分と自分でいろんな事をやるようになってきた。本質的になんも変わっていないおばあちゃんの側に居たところで、同じ事を繰り返すだけだろし……。

繰り返して行って少しずつ前に進むのなら良い。

そうではなく、ますますイライラが積み重なっていくのは目に見えている。

そだな。

僕自信、はおばあちゃんと話をするつもりはないんだから、無理にすることはないだろうな……。

今日本当は山中湖のハーフマラソンでした。これで芦ノ湖、小笠・掛川、山中湖と三連敗です。

買い手の気持ち -2002/05/27(月) Vol.417

今度の日曜日に、またもやフリーマーケットに出店することになった。

今回で三回目となり、我が家にもそうそう不要品があるわけではない。それでもゆーたは、「収入になる」という事が頭から離れないらしく、去年のフリーマーケットが終わった直後から「今度はいつだ！を繰り返してきた。

「モノがないんだから、半年は空けないとダメだよ」と言い聞かせてきたが、その「半年」も過ぎ、再び「いつするんだ？」が始まった。

「プーニャの赤ちゃんが産まれて落ち着いてからね」と言ってきたが、赤ちゃんも随分としっかりしてきた。

もう、先延ばしする理由はなくなり、6月2日の日曜日にフリーマーケットに出店することにした。

:*:.'° 。.:*:.'° ° .'*:.. .*:.'° 。.:*...*:

今回、モノが少ないということで、ゆーたは最初から、「価格表」を作り始めた。一つ一つの品物に「希望販売価格」を記入しているのだった。そんな中でゆーたも商品が少ないというのを実感してきたのだろうか？ 今まで、決して手放そうとしなかった自分のモノも、少しではあるけれど出すようになった。

その一つがゲームボーイのソフト。

ポケモンやドラクエの1・2、3など。攻略本もつけよう、となった。

「ねえ、ゲームボーイのソフトはいくらかねえ？」

「う～ん、じゃ、今日ゲームショップに行って、中古の価格調査をしよう」

と二人で出かけていった。

:*:.'° 。.:*:.'° ° .'*:.. .*:.'° 。.:*...*:

「箱付き、取説付きで2980円だね」

「でも、それはゲームショップで買うからだろ？ 全くどこの誰かかわからない人から、その値段で買うか？ お前は？」
「う～ん、買わないなあ」
「ショップの半分、というところじゃない？」
「そうだねえ……」
「そうそう、会場にゲームボーイの本体も持って行って、買う前に動くかどうか確認してもらった方が、買い手も安心するんじゃない？」
「そっか……」

少しずつではあるが、こちらの希望と言うよりも、買い手の気持ちがどう動くのか、ということに話題が移るようになってきた。これはこれで、奴なりの進歩だと思う。

実際、その場になってみたらどうなるかは、また別の話だが……。(^^)

赤ニャンコ、二匹とも目があきました。これでようやく「モグラ」から「プチニャンコ」になりました。(ゆーたの分類による)
<http://www.osamu.net/cgi-bin/gallery/gallery.cgi>
プーニャもお母さんやってます！

耐える -2002/05/28(火) Vol.418

本屋のはしごをして家に戻ってきたのは6時過ぎだった。
毎度のことながら、ゆーたと女房はさっさと晩ご飯を食べ終わっていた。
食事を終え、ゆーたが寝室に行っている時に、女房が言った。

「今日、私が帰ってきたら、ゆーたがおばあちゃんを二階に呼んで、例によって色々と言ってるの。『詐欺師って言われた』とか……。おばあちゃんもまたいつものように『そんなことは言っていない』『いつ言ったんだ』ってやってるの。言った言わないを延々と二人でやってるんだもの。イヤになっちゃう」「その内おばあちゃんは、ようやく生返事をするようになって、それがまたゆーたには頭にくるんだろうね」

:*:~'° 。.:*:~'° ° '°*:~.。.:*:~'° 。.:*:~:~*:

相も変わらぬ光景だ。
ただ、ゆーたは僕が居る時は、極力下に行かないようにしている。
僕のおばあちゃんに対する気持ちは変わらない。

最初に「そうだねえ」とか「そうだったかもしれないね、ごめんね」とゆーたの気持ちをほぐしてあげればいいのに、それができない。そして、散々言われていい加減に面倒くさくなってきた時に、「はいはい」となる。
全くゆーたをバカにした態度だと思う。そんな対応がまずいことを、いくら言ってもおばあちゃんはわからないから、僕は(女房も)おばあちゃんにゆーたと接してもらいたくないのだ。
何を言っても理解できないおばあちゃんに対して、僕は言葉を持ち合わせていない。

:*:~'° 。.:*:~'° ° '°*:~.。.:*:~'° 。.:*:~:~*:

先日の飲み会である先生と話をしていた時、ゆーたの4年生の時の担任M先生の事が出てきた。
「M先生は、子どもの気持ちの受け止め方がとっても素敵ですよ」と僕。
「そうなんですよ。M先生はどんなことがあっても『そうだったのお』って、まずは子ども達の気持ちを肯定するんですよ」とその先生。

そうなんだよなあ。
まず、受け止めてあげること。
それができずに衝突し、泥沼のような言い合いになる。そして、旗色が悪くなるとただただ、嵐の過ぎ去るのを耐えるだけ。後にはきまづい思いが積み重なっていく……。

いつまで繰り返すんだろう？
でも、最近はやゆーたの方が気持ちをコントロールできるようにもなってきた感じもする。しかし、その中身は「おばあちゃんに対するあきらめ」というものだが……。

う～ん、最近収入がない！ (; ;)
ゆーたにまた、2万円借金をしてしまった.....。(;)

サトラレ -2002/05/29(水) Vol.419

こんなメールをもらった。

- > いつも楽しく、まるで実況中継のように読ませていただいています。
 - > ただ、よく分からないことで、立ち入ったことにもなりますが、お母様のことになる
 - > ととても厳しく感じます。
 - > ご両親とのご関係もこれまでのメルマガでしか拝読できませんし、事情は察し切れません。
 - > しかしながら、このように配信物で反発してはお気の毒な気がします。
 - > お母様も、上手には表現できないにしても子どもや孫へ愛情はあるはずです。
 - > おさむさんやゆーた君のことを思っているつもりでも、上手でないだけ。歯車がかみ
 - > 合わないだけ。
 - >
 - > 私も子どもを持つ身。
 - > あまり上手に子どもを育てているという自信も、現状ありません。
 - > 毎日、反省の繰り返し。
 - > そんな私のことを、いつか子どもが悪く書いているとしたら、悲しみの極みです。
 - > 匿名であっても。
- <以下略>

ドキとした。

.*.*.'° 。 .*.*.'° ° '.*.*.. .*.*.'° 。 .*.*..*.*:

少し前、何の気なしにテレビをつけていたら「サトラレ」という映画をやっていた。
人よりも非常に優れた能力を持つ「サトラレ」は思念波が強く、本人が思っている事全てが、周囲の人間に伝わってしまう。国家の貴重な財産として、「サトラレ」本人が「サトラレ」であることに気がつかないように国は万全の体制をしいて、「サトラレ」の警護にあたる.....。
周りの人間は、聞きたくもない本人の気持ちを聞かせられる。
当然、「サトラレ」は疎んじられる。
そりゃそうだろう、思っていることが全て伝わってくるのだから、たまったモンではない。最後はハッピーエンドで終わるのだが、映画の中で、こんなセリフがあった。

「今の時代、『言葉』がたくさんあふれてしまい、本当の人の気持ちがなかなか見えにくくなってきている」と。

.*.*.'° 。 .*.*.'° ° '.*.*.. .*.*.'° 。 .*.*..*.*:

昨年まで僕は、「ぼちぼち...」を読んでくれている500名の読者をどこかしら意識していたように思う。いや、今でも意識していないことはないが、以前に比べて、その比重は随分と軽くなってきた。「カッコ良いことを書いて、なるほど...と思ってもらおう」みたいな感じだったかもしれない。

今までのメールマガジンを自分で読み返して、その時に何があったのか、何を考えたのかを綴っていくことが、自分にとって大切なんだという思いの方が強くなってきた。
不安定で支離滅裂な自分も、また、僕なのだ、と。

じゃあ、メールマガジンじゃなくって、自分でひっそりと日記をつけていれば良いじゃない？ なんて思ったりもする。確かにそうだ。どうして、わざわざ配信なんてしてるんだろう？

.....しばし考え込んでしまった。

ま、いっか！ ここまで発行してきたんだもん。
成り行き、って言うことにしておこう！ \(--;) オイオイ

でも、色々なところで、「あれ？」とったり「そうそう！」なんて感じたり、時には「おかしいよ！」

なんて思ったりする人たちが、このディスプレイの向こうに、いるんだと思うと嬉しくなる。

きっと同じように色々と悩みながらも、毎日毎日を頑張っている人たちがいるんだ、って。そして久しぶりにベッヒャーの「共有」という詩を思い出した。

:*:~'° 。.:*:~'° ° ' .:~:~. .:~:~'° 。.:~:~:~:~:~:

『共有』

ベッヒャー

ぼくはきみと同じように泣いた。
ぼくはきみと同じように喜んだ。
ぼくにはきみがわかっているのだ。

きみとぼく
たとえ目鼻立ちは違っていても
手足のつき方に変わりがありはしない
小さな点では違っているとしても
大きな点では変わりがありはしない

僕等を区別しているものは
はてしない人生の波に洗われるように
ぼくらの共有しているものに洗われてゆく。

美しいはずなのだ、人生は.....。
そして人間は.....素晴らしいのだ。

:*:~'° 。.:*:~'° ° ' .:~:~. .:~:~'° 。.:~:~:~:~:~:

ははははは！ 支離滅裂！（^_^;）

ワールドカップ -2002/05/30(木) Vol.420

いよいよ明日からワールドカップが始まる。

もう、ドキドキしてくる。

ゆーたに「ねえねえ、ワールドカップ期間中、どうしても見たい試合の時は、テレビ見させてね。」と頼んだら、「下の和室で見ればいいじゃん」と返事が返ってきた。

「下には行くわけないでしょ！」と言うと、「そうだ、カーナビで見てくれれば良いよ」と。

ったく、こういうところの切り返しは鋭いんだから！（;_;）

:*:~'° 。.:*:~'° ° ' .:~:~. .:~:~'° 。.:~:~:~:~:~:

ワールドカップに夢中になり始めたのは、1982年のスペイン大会からだだった。

ジーコやソクラテスといったブラジルの選手達。そして優勝したイタリアのロッシ.....。凄かった！夜中、ずうっとテレビ放映を見ていて、翌日寝不足のまま学校に出かけていったモノだった。

今ではテレビで何度も放映されているが、86年のマラドーナの「神の手」や「五人抜き」もテレビの前で釘付けになって見ていた。

その後、ワールドカップだけではなく、wowwowに加入してセリエAの試合をよく見たモノだった。海外の一流選手のプレーは見ていてただただ感心するばかり.....。

それがいよいよ明日からは、夜中ではなく、すぐ側で行われるのだから、ウキウキしてくる。

:*:~'° 。.:*:~'° ° ' .:~:~. .:~:~'° 。.:~:~:~:~:~:

でもチケットを持っているわけではない。目の前で見てみたい、という思いもないわけではないが、どうも日本のワールドカップに対する、全体的な雰囲気は僕には好きになれない。

「ドーハの悲劇」だとか「悲願の何タラ……」とか、どうしてあんなにオーバーな表現をするんだろう？ 表現がオーバーになればなるほど、僕の気持ちは冷えていってしまう。

確かにワールドカップは「国の威信をかけて戦う」とも言われるが、今の日本という「国」の有様を見てみると、「威信をかけて戦う」に値するものなのだろうか？ という思いが頭をもちあげる。

同時に、「日の丸、君が代」の法案成立の時に、何度も出てきた「愛国心を養わせる」という文言がオーバーラップしてしまうのだった。

心から日本のチームを応援したいという気持ちは、僕にもある。

素晴らしいゲームを期待している。

しかし一方で、冷めた目で「日本」を見ている部分が僕の中には確かにある。

セガールの選手が万引きしたけれど、「温情」でワールドカップに出られるそうさ。でも、どうなのかなあ？ ワールドカップは犯罪も許してしまうのか？ なんて思ったりして……。よくわからん！（ ;)

価格表 -2002/05/31(金) Vol.421

だいぶ文字入力ができるようになってきたゆーた。

そして明後日に迫ってきたフリーマーケット。

今日は、ゆーたにエクセルをやらせてみた。「商品の一覧表、つくってみたら？」と。

番号、商品名、単価、数量、計 という項目。

計の所には、単価×数量の計算式。

文字の入力に抵抗がなくなったゆーたはどんどんと入力していった。

一番上には、総計と、総計×0.5、総計×0.5×0.5 という三つの式を入れさせた。

この一番上の数字がどんどんと自動計算されて、増えていくのが楽しいらしく、結局100点近い品物を全部入力してしまった。

「こちらの言い値で100%品物が完売できたとしたら、全部の合計になるでしょ？ でも、そんなにうまくいかないから、半分に値切られたとしたら、合計×0.5。品物が全部売れるわけがないから、半分売れたとして×0.5。これが売り上げ目標だな」

ゆーたの計算では、全部で6万円。半分の半分として1万5千円くらいが、収入として入ってくるだろうという予想が立てられた。

う～む、果たしてこの通りになるだろうか？ (^_^;)

でも、一回目、二回目のフリーマーケットに比べたら、凄い進歩だと思うなあ。

.*:.*'° 。 .*:.*'° ° '.*:.*'° .*:.*'° 。 .*:.*:.*:.*:

教科担任の仕事は、古典だとか漢文だとかといった学習指導要領に記載された事を教えるのではなくて、その子の興味・関心からスタートしたことを、その教科に最終的にどのように結びつけていくか、ということなんだ！

な～んて偉そうに言っていたことを思い出してしまった。

明日は、フリーマーケットの時に、何を売っているかお客さんにわかるような張り紙でも作ろうか？ という事になった。

ウン、今度は一太郎の出番だな！（^^）v

今日で五月もお終い。6月はゆーたの誕生日がやってきます。そして今年一年の折り返し地点が近づいてきました。